科目名 ：	美術Ⅰ	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 8 回
使用教科書 ：高校生の美術１ 日本文教出版			
学習書 ・副読本 ：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	20 回	8 回	6 回	6 回
テスト [T]	0 回	×	×	×
その他 （課題・実習等）				

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・美術、デザインの基礎的な表現方法と鑑賞の分野について学習します。
・スクーリング出席時には、レポート集、鉛筆またはシャープペンシル（ＨＢ以上の濃さ）、消しゴムに加えて、レポート毎に指定されている用具、材料も自分で用意して来てください。準備のない場合、スクーリングを受けられないこともあります。
・スクーリングの出席は各範囲均等にし、各レポートごとに最低1回は出席し、課題内容の説明を聞いた方がスムーズにレポートを進めることができます。

2 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b ：発想や構想の能力	c ：創造的な技能	d ：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の基礎的な表現方法や美術文化に関心を持ち、創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞に取り組もうとする。	設定された題材を理解し、個人の感性や想像力を働かせ、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけようとし、表現方法を工夫している。	美術作品や文化などに関心を持ち、そのよさや美しさを味わおうとしている。また、自分なりの見方で感じ、考えようとしている。
評価方法	・作品及び記述の点検（レポート） ・制作の様子（スクーリング）	・作品及び記述の点検（レポート） ・制作の様子（スクーリング）	・作品及び記述の点検（レポート） ・制作の様子（スクーリング）	・記述の点検（レポート）

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	絵画・デザイン	1．デッサン 2．レタリング	○		○		a.美術の創造活動の基本であるデッサンに関心を持ち主体的に取り組もうとしているか。 c.鉛筆を工夫して使い、明暗、濃淡などの調節をし、丁寧に描けているか。 a.デザインの創造活動の基本であるレタリングに関心を持ち主体的に取り組もうとしているか。 c.明朝体とゴシック体の違い理解し、丁寧にレタリングできているか。	・レポート ・スクーリング
2範囲	絵画・デザイン	3．色彩 4．水彩画の表現	○	○	○		a.造形表現の重要な要素である色彩に関心を持ち主体的に取り組もうとしているか。 b.水彩絵の具を使い、条件に合わせ意図的に混色、丁寧に彩色ができているか。 a.水彩絵の具の多様な表現に関心を持ち主体的に取り組もうとしているか。 c.より多くの水彩絵の具による表現方法を試みようと工夫しているか。	・レポート ・スクーリング
3範囲	絵画・デザイン	5．コラージュ 6．鑑賞・美術史	○	○	○	○	a.考え表現することに関心を持ち主体的に取り組もうとしているか。 b.テーマを理解し表現形式の特性を生かし、形、色彩などを工夫して創造的な表現の構想を練っているか。 c.意図に合った材料の特性を生かし、表現方法を工夫して表現できているか。 a.多くの歴史的な美術作品を知り、良さ美しさに関心を持とうとしているか。 d.主体的に自分なりの見方や感じ方を持とうとしているか。	・レポート ・スクーリング

※ 表中の観点について　a：美術への関心・意欲・態度　　b：発想や構想の能力
c：創造的な技能　　d：鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。